

茅野の古墳 豊かな文化

八ヶ岳総合博物館で特別展



八ヶ岳総合博物館で開かれている特別展「古墳の茅野」で公開されている
疱瘡神塚古墳出土の子持高坏

114年ぶり「帰郷」も

茅野市八ヶ岳総合博物館は、特別展「古墳の茅野―地域のなかの古墳―」を同館で開いている。諏訪地方の中でも数多く築かれたという市内の古墳の歴史や出土品を紹介し、約350点の資料を展示。市内では注目されがちな縄文時代だけでなく、古墳時代も豊かな文化を物語ることを伝えている。中でも、疱瘡神塚古墳（宮川高部）から明治時代に見つかり、東京国立博物館（東京）に収蔵されていた出土品が公開され、114年ぶれたという。

今回の展示は、国立文化財機構所蔵品貸与促進事業を活用し、出土品を借り受けて実現した。9件で、いずれも重要美術品に認定されている。台の上に五つのふた付きの器（復元を含む）が載った「子持高坏」をはじめ、鉄矛や長頸壺、馬具の杏葉や轡などが並ぶ。

このほか、大塚古墳（仲町）などから出土の装身具や、蛇塚古墳（宮川安国寺）出土の金銅装頭椎大刀、釜石古墳（塚原）出土の獅噛文環頭大刀柄頭などを出品。被葬者の人物像や社会的背景に迫っている。

八ヶ岳総合博物館では同展の図録を作成。800円（税込み）で販売している。

同館に加え、市尖石縄文考古館と市神長官守矢史料館で関連展示が行われている。考古館では12月14日まで、史料館では12月19日まで。3館を巡るスタンプラリーも展開中で、達成した人に数量限定で粗品をプレゼントしている。

博物館の開館時間は午前9時～午後4時30分。会期中、12月1日、8日は休館。問い合わせは同館（電話0266・73・0300）へ。
（手塚洋一）